

令和4年9月9日
愛媛大学

「PRiME 共同研究発表会」及び PIM2022「第20回松山国際学術シンポジウム」を開催

愛媛大学プロテオサイエンスセンターでは、このたび「PRiME 共同研究発表会」及びプロテイン・アイランド・松山（PIM）2022「第20回松山国際学術シンポジウム」を、下記のとおり開催します。このイベントは、プロテオサイエンスセンターの独自技術を国内外に発信し、研究者間のネットワークを形成することを目的に実施するものです。

つきましては、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

■PRiME 共同研究発表会：令和4年9月15日（木）13時30分～17時45分

■PIM2022「第20回松山国際学術シンポジウム」：

令和4年9月16日（金）10時00分～17時30分

場 所：愛媛大学 南加記念ホール

対 象：研究者・技術者・学生

定 員：15日・16日ともにそれぞれ100人まで

参加費：無料

参加申込：事前申込み制（締め切りました）

駐車場：無し

【注意点】

- ・取材の際は受付にお申し出ください。
- ・挨拶時以外の撮影は、一部制限させていただきますので、受付の際にご確認ください。
- ・感染症対策にご協力をお願いします。

本件に関する問い合わせ先

（担当部署）研究支援課研究第三チーム

（担当者名）鈴木

TEL：089-927-9686

Mail：saiboss@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料6枚（本紙を含む）

2022. 8. 30 変更

PRiME 共同研究発表会

プログラム

13:30～13:45

開会挨拶

澤崎 達也 愛媛大学 プロテオサイエンスセンター センター長
PRiME 拠点長

(口頭発表 I)

13:45～14:05

座長 野澤 彰

井上 晋一郎 (東海国立大学機構 名古屋大学)

近位依存性標識酵素 AirID を利用した新奇気孔開口シグナル伝達因子の同定

14:05～14:25

座長 山中 聡士

宇津木 優樹 (筑波大学)

生体内インタラクトーム解析を用いたユビキチン変異体切断酵素の同定

14:25～14:45

座長 山中 聡士

岸本 真治 (静岡県立大学薬学部)

糸状菌二次代謝酵素の相互作用解析技術の開発

14:45～15:05

座長 竹田 浩之

磯部 洋輔 (理化学研究所生命医科学研究センター)

リポキシゲナーゼによる炎症反応の制御とその相互作用分子の探索

休憩 15:05～16:05 (研究打ち合わせ時間)

(口頭発表 II)

16:05～16:25

座長 今井 祐記

榊原 伊織 (愛知医科大学医学部)

運動による転写制御機構の解明

16:25～16:45

座長 東山 繁樹

迫 圭輔 (国立循環器病研究センター)

pHと細胞膜

16:45～17:05

座長 矢幡 一英

佐倉 孝哉 (長崎大学熱帯医学研究所分子感染ダイナミクス解析分野)

マラリア原虫の相分離を介したエネルギー代謝制御

17:05～17:25

座長 東山 繁樹

大徳 浩照 (筑波大学生存ダイナミクス研究センター)

ヒスチジンメチル化酵素 METTL9 の同定と機能の解析

17:25～17:45

座長 東山 繁樹

原田 陽一郎 (大阪国際がんセンター)

DNA 障害型抗がん剤の潜在能力を引き出すマンノースとその作動原理の解明

17:45～17:50

閉会挨拶

東山 繁樹 愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 副センター長

(技術紹介)

17:55～18:05

竹田 浩之 愛媛大学 プロテオサイエンスセンター

プロテインアレイを用いた相互作用解析

18:05～18:15

山中 聡士 愛媛大学 プロテオサイエンスセンター

BioID 法を用いた細胞・個体内相互作用解析



「プロテイン・アイランド・松山」(Protein Island Matsuyama, PIM:ピム)は、愛媛大学の遠藤弥重太特別栄誉教授が開発した「無細胞タンパク質合成技術」を核として、愛媛・松山をタンパク質研究およびバイオの国際拠点にしていこうという構想です。PIMの実現を目指して2003年に開始した本事業は、今回で20回目を迎えますが、対象者別に様々なイベントを行っています。

専門家や研究者向けの「国際シンポジウム」、中高生や一般の方向けの「一般向け体験セミナー」そして企業関係者向けの「ビジネス展開への試み」を大きな柱としています。いずれのイベントも、バイオ研究・産業に欠かせない最先端のタンパク質研究を、研究者や企業関係者の皆様方にはより深くご理解いただけるよう、また、一般・中高生の皆様方にはより身近に感じられるように工夫しておりますので、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

今年開催できますのも、これまでご参加いただいた方々や、シンポジウム運営に携わってくださる関係者、さらにはご協力くださる企業・団体などの皆様のおかげでございます。今回もPIMを活気あるものにするため精一杯努力してまいりますので、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

プロテイン・アイランド・松山 実行委員会 会長
愛媛大学プロテオサイエンスセンター長

澤崎 達也

9月16日(金) 第20回 松山国際学術シンポジウム

Protein Island Matsuyama 2022 International Symposium

【時間】 9時30分～17時30分

【会場】 愛媛大学 南加記念ホール

【使用言語】 英語 (同時通訳無し)

【対象】 研究者・大学生

【定員】 100名 (先着順)

【申込】 参加無料 (事前申込制)



Balázs Györfly
パラージュジョルツフィ
センメルヴェイス大学



ハンガリー

【専門分野】
腫瘍学、バイオインフォマティクス



波多 賢二 Kenji Hata
大阪大学

【専門分野】
分子生物学、軟骨代謝
エピジェネティクス



日本



Simon J Draper
サイモンJドレーパー
オックスフォード大学



イギリス

【専門分野】
ワクチン学、トランスレーショナル医療



石川 岳志 Takeshi Ishikawa
鹿児島大学

【専門分野】
計算化学



日本

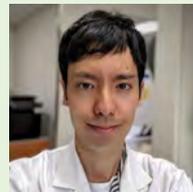


Justin Jang Hann Chu
ジャスティン ジャンハン チュウ
シンガポール国立大学



シンガポール

【専門分野】
分子RNAウイルス学、抗ウイルス戦略



平野 港 Minato HIRANO
長崎大学

【専門分野】
ウイルス学、RNA生物学



日本

研究ポスター発表

ポスター掲示時間 9:30～17:30
セッション時間 14:30～15:50

企業ブース展示

パーキンエルマージャパン株式会社
株式会社セルフリーサイエンス

共同研究発表会

【日時】 9/15(木) 午後

【対象】 研究者 (専門的な内容です)

【会場】 愛媛大学 南加記念ホール (城北キャンパス)

【内容】 口頭発表による研究紹介・討論を行います。参加は無料ですが、事前申し込みが必要です。



プロテイン・アイランド・松山 2022
第 20 回松山国際学術シンポジウム プログラム

開催日：令和 4 年 9 月 16 日（金）

会 場：南加記念ホール および 校友会館（メイプル・サロン）

9:30- 10:00	受付
10:00- 10:05	主催者挨拶 仁科 弘重（愛媛大学長）（予定）
10:05- 10:20	Opening Remarks 澤崎 達也（愛媛大学 PROS センター長）
10:20-10:50	講演 1：平野 港（長崎大学 高度感染症研究センター） Towards the understanding of pathogenic mechanisms of highly pathogenic arthropod-borne viruses 座長：高橋 宏隆（愛媛大学）
10:50-11:40	講演 2：Justin Jang Hann Chu ジャスティン ジャンハン チュウ （シンガポール国立大学 医学部、シンガポール） Recent advances in antiviral strategies against medically important positive-sense RNA viruses. 座長：高橋 宏隆（愛媛大学）
11:40-12:00	休憩
12:00-12:40	講演 3：石川 岳志（鹿児島大学大学院 理工学研究科） Development and Application of a Quantum Chemistry-Based Method for Analyzing Protein-Protein Interaction 座長：矢幡 一英（愛媛大学）
12:40-13:20	講演 4：Simon J Draper サイモン J ドレーパー （オックスフォード大学 生化学科、イギリス） Advances in Protein-Based Vaccines for Blood-Stage Malaria 座長：Richard Culleton（愛媛大学）
13:20-14:30	昼食
14:30-16:00	ポスターセッション・ 協賛企業プレゼン（株）セルフリーサイエンス、（株）パーキンエルマー・ジャパン 移動（会場：校友会館 1階メイプル・2階サロン）
16:00-16:40	講演 5：波多 賢二（大阪大学大学院 歯学研究科） Transcriptional control of skeletal development 座長：今井 祐記（愛媛大学）
16:40-17:20	講演 6：Balázs Györfy バラージュ ジョルッフイ （センメルヴェイス大学、ハンガリー） Utilization of cell line data for identify genes related to chemotherapy response 座長：今井 祐記（愛媛大学）
17:20-17:30	Closing Remarks 東山 繁樹（愛媛大学 PROS 副センター長）

「PRiME 共同研究発表会」および PIM2022「第 20 回松山国際学術シンポジウム」 キャンパスマップ

会場：愛媛大学 城北キャンパス 南加記念ホール・校友会館
(愛媛県松山市文京町 3 番)

受付：両日ともに校友会館 1 階へお越しください。

